

5.15 川の環境調査学ぶ 25.5.15 宮 県が指導者向け研修会

宮崎市

県独自の「水辺環境指標」を使った調査の指導者育成研修会は14日、宮崎市の県衛生環境研究所や加江田川であった。各市町村や保健所

の担当者約40人が参加。小中学生らが川の環境調査を



薬品を使った水質の簡易検査方法についての説明もあった研修会

行う際の調査方法などを学んだ。

指標は川の環境を簡単に調査できることが特徴で、2005年度に策定。水の透明度やにおい、生息生物の種類など6項目を基に判定す

る。

研修会では同研究所の職員らが、この6項目の調査方法などを講義。10日間の降水量を確認し、増水していない日に調査することや、石を軽く蹴りながら生物を集める「キックアンドスワイプ法」を説明した。その後、参加者は加江田川上流に移動。透視度計や網を用いて6項目の調査を実際に体験した。

受講した高鍋保健所衛生環境課の有村公輔副主幹は「簡易水質検査など技術的な方法を学びたかった。小中学校などから環境教育の要請があれば協力していきたい」と話していた。

同指標を使った調査は昨年度、県内50河川で行われ、小中学生を中心に58団体2350人が体験した。